



巻頭言

子どもの成長を長い目で見る

小田 豊

子どもを幼稚園に通わせるようになるとホッとするかと思っていいたら、悩みがかえって増えたという保護者の方がいます。悩みの中身は、「どうしても自分の子どもとほかの子どもとを比べてしまう」ということのようにです。入園前に公園などでほかの子どもと遊ばせる機会が増えると、自分の子どもとの違いが目に入ってきます。しかし、園に通うようになると、比べる子どもの数が増え、保護者の悩みが増すようです。特に、わが子がほかの子より遅いという悩みがもっとも多く、次に、上手に話したり走ったりできるか、砂場などで遊具を上手に使用して遊びができるか、教師に話しかけることができるかなど、どうしても「できるか否か」を中心とした悩みが多いようです。



最近は、育児書や子育て書などの情報が豊富なために、正しい子育てをすればきちんとした結果が出ると思え、わが子にできないことがあると育て方が悪いのではと、自分を責める人もいます。さらに、その結果を受けて無意識に子どもへの虐待につながっていくケースもあるようです。こうした場合の基本は、子どもの発達の目安を知っておくことではないでしょうか。たとえば、周囲に何でも早くできる子どもがいても、わが子が特別遅いわけではないことを知ると、焦らずにゆったりと余裕が生まれます。また、子育ては理想どおりにはいかないのが一般的で、発達には個人差があり、むしろそれが楽しいのです。発達ということとは、あくまでも目安であって、早い子どもればゆつくりと育つ子どもいることを保護者に知ってもらうことが大切です。

子どもを理解するには、一つひとつの場面や行動をとらえるだけでは充分ではありません。一つの行動の意味がそのときにはわからなくても、その子どもの生活する姿を長い期間続けて見ていくと、後で理解できたということがよくあることです。また何かのとき、子どもの思いがけない素晴らしい一面が表れたり、入園当初はおとなしいと思っていた子どもが、緊張が解けてくると活発な面を表したりすることもよくあることです。子どものもち味や生活の変化は、教師が子どもたちとさまざまな場面でふれあいを重ねる中で



少しずつ理解されてくるものです。焦らず、決めつけずに、日々心を新たに
して一人ひとりへの関心をもち続けることが大切であることを、教師だけで
理解するのではなく、保護者にも具体的な姿を通して伝えることが重要だと
思います。

子どもの発達する姿をとらえるためには、とりわけ長い目で見る必要があ
ります。次々といろいろな面で変化を見せる子どももいれば、長い間同じよ
うな姿に見える子どももあります。そのような子どもも、あるときに急に変化
を見せることがあるのです。大人は、とすれば子どもができること、新た
にできるようになったことにこだわる傾向があります。簡単に目に見えるも
のだけが発達ではありません。一見、毎日同じように見える子どもでも、生
活を共にする中でその姿をていねいに見ていくと、今、その子どもにも何が育
とうとしているのか、その子どもが、発達の土台となるどんな経験を積み重
ねているのかをとらえることができるのです。どの子どもも可能性をもつ存
在です。長い目で一人ひとりの育ちに期待をもってかかわる教師の姿勢が、
子どもの発達に必要なのではないのでしょうか。

やや逆説的になりますが、最近、しつけを急ぐあまりなのか「やんちゃな
子ども」が少なくなってきました。もっと、子どもが「子ども」であるこ



とが許される「やんちゃな子ども」の出現を期待したいものです。しかし、気をつけなければならないのは「やんちゃ」と「わがまま」とは違うということです。ここでいう「やんちゃ」とは、自分を発揮し自立でき、ルールを守り、思いやりをもっている。つまり、びつくりするほどやんちゃなこともするが自分をコントロールでき、一人でも、そしてたくさんさんの友達とも楽しく遊べる子どものことを意味しています。反対に「わがまま」とは、他人を認めず、ルールを無視して勝手な自分本位の行動しかとれないことです。

やんちゃな子どもを育てるためには、大人と子どもの関係を転換しなければなりません。従来、大人と子どもの関係は、画一的に大人が子どもに何を与えるか、という縦軸の世界でした。その縦軸から、大人と子どもが正面から向き合って、子ども一人ひとりの中に何が育っているかを考える、横軸の世界へと転換することが大切ではないでしょうか。そのためには、まず子どもが自然体で練り広げる自由な発想の生活をきちんと見届け、子どもの世界のわずかな揺るぎも感知・共鳴できるしなやかな心をもって、子どもと同じ時間を流れていく。つまり当たり前前のことですが、子どもの世界にじっくり、真剣につきあうことしかないのかも知れません。

(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)